

信濃川大橋渋滞改善

県道1号

信濃川大橋の概要

全長：617.95m

幅：6.8mの片側1車線

右図東側：県道1号新潟小須戸三
条線と交差
(天野交差点)

右図西側：国道8号線と交差
(西詰交差点)

江南区（東側）と西区（西区）はもとより、市内東西を結ぶ重要な幹線道路であり、朝夕の通勤退勤時に最も混雑する。



国道8号

信濃川大橋の問題点

- 信濃川大橋周辺には一般道路に架かる橋梁が少ない
→信濃川を横断する車両が集中しやすい。
- 交通量の多い道路と交差している
→必然的に交通量が多くなってしまう。
- 片側1車線の道路であり、道幅も狭い
→速度を落とした運転になり、車が溜まりやすくなり混雑時には信号に引っ掛かりやすくなる。

天野交差点側問題点

- 信濃川大橋が片道1車線の右折車線の無い道路であり、後続車は徐行して右折車を避けながら直進または左折をする。
→速度低下の運転により、車が溜まりやすい
- 右折先が新津、三条方面と比較的人の多い町である。
→右折する車両が多い



↑
新津、三条方面

西詰交差点問題点①

- 天野交差点付近の車両の滞留が西詰交差点まで続き、青山方面から左折する車両、白根方面から右折する車両が橋を横断する際に詰まって進行が難しい。
- 右図の赤丸付近に車両が溜まり、場合によっては通行の妨げとなる。
また車両が減らない分、後続が渋滞を起こしやすくなる。

青山方面



白根方面

西詰交差点側問題②

- 信濃川大橋から左折する車両が、交通量の多い国道8号線へ合流が難しい。
→ 後続に渋滞ができる。
- 現在は右図の赤丸個所に加速車線が追加されたが、改善されたか分かりにくい状況である。



白根方面

研究内容

研究内容：信濃川大橋の渋滞改善

調査対象：信濃川大橋に隣接する西詰交差点、天野交差点

所在地：新潟市西区鳥原、新潟市江南区天野